



[ミス日本みどりの大使]とは

公益社団法人国土緑化推進機構Webサイト「みどりの大使」
(https://www.green.or.jp/promotion/midorino-taishi/entry-1679.html)

みどりの大使が行く!



2025
ミス日本
みどりの大使

佐塚 こころ



行動力あふれる高校生の 発表を聞いて



みなさんこんにちは！ 第4回森林づくり全国推進会議の司会として出席した際に高校生による持続可能な未来に向けたアクションアイデア発表を拝聴しました。高校生のみなさんが楽しげと好奇心を持ちながら、真剣に森林の未来について考えている姿にとても温かい気持ちになりました。また、今回の発表から伝わってきたのは單なるアイデアではなく、実際に自分の足で現場に行き、体を動かしながら実践した等身大の思いでした。

せす、きちんと向き合えば地域の資源として生かせる、という前向きな姿勢がとても素敵だと思いました。若い世代の柔らかい発想が、森林の未来に新しい風を吹かせていました。

高校生が描く森林のビジョン

今回発表したのは「SDGs QUEST みらい甲子園」のファイナリスト2チーム

で、1チームは竹林の整備や竹の活用の取組に関する発表でした。放置竹林の問題については以前から耳にしていましたが、高校生が自分たちで竹林に入り、竹を切り出したり利用方法を試したりしていたことに

驚きました。竹を「厄介もの」として終わら

る小さなつながりが、森林全体を元気にするきっかけになるのだと思います。高校生がその橋渡しをしているという事実が、とても頼もしく感じられました。今回、高校生のみなさんの発表を聞き、活動の内容はそれぞれ違つても、「緑を守りたい」「未来に森林を残していくみたい」というみなぎりには共通するものがあるように感じました。

第8回ふくしま植樹祭に 参加しました



第8回ふくしま植樹祭に 参加しました

第8回ふくしま植樹祭では桜の木の剪定を体験しました。桜の枝をどこで切るかを決めるのは本当に難しくて、少し位置がずれるだけで木に負担がかかり、見栄えが悪くなったりすると教えていただきました。切った部分には菌が入らないように薬を丁寧に塗り、その作業ひとつひとつに「木も生きているんだ」という実感がこみ上

第8回ふくしま植樹祭に 参加しました

の小さなつながりが、森林全体を元気にするきっかけになるのだと思います。高校生がその橋渡しをしているという事実が、とても頼もしく感じられました。今回、高校生のみなさんの発表を聞き、活動の内容はそれぞれ違つても、「緑を守りたい」「未来に森林を残していくみたい」というみなぎりには共通するものがあるように感じました。

小さな気づきを大切に

今回の発表や体験を通して、森林を育むということは特別な人だけの仕事ではなく、立場や世代を超えて関わり合えるものだと強く感じました。高校生たちの行動力も、桜の剪定で得た繊細への気づきも、すべてが未来の森林を支える一步につながっています。こうした小さな実践と想いが重なり、豊かな森林の未来が形作られていくのだと思いました。こうした森林の未来をともに作っていくような活動がこれからも広がることを願っています。



小さな気づきを大切に

